

カナディアンロッキーの大自然に触れる。

(報告) 深澤 裕

◎ 期間 2015年8月11日(火)～21日(火)(10日間)

◎ メンバー 深澤 裕・連れ合い

1. はじめに

初めてのカナダ。ロッキーの自然に触れたくてバンフ・ジャスパーを中心に幾つかトレッキングをしました。この辺りは北緯55°に位置します。樺太の中央部あたりと同位です。この時期、日の出は8時。日没は11時。昼が長かったです。私たちはレンタカーを使わなかったのでバンフではタクシーを利用。ジャスパーではシャトルバスを使い登山口まで移動しました。トレッキングを4回行いました。あとはツアーに参加し氷河や湖水や溪谷や滝などの大自然を堪能しました。今回はそのうち3回のトレッキング報告をします。

8月11日(火)	16:00 成田発 AIR CANADA 010
11日(火)	10:45 CALGARY 国際空港 着 BREWSTER BANFF AIRPORT EXPRESS CALGARY 1PM 発—BANFF 2:45PM 着 Swiss Village Hotel BANFF 泊 600 Banff Avenue 001-403-762-1581
12日(水)	トレッキング① Cascade Amphitheater & Cascade Mt 2998m(8H) Swiss Village Hotel BANFF 泊 600 Banff Avenue 001-403-762-1581
13日(木)	トレッキング② Edith Pass & Cory Pass 2931m(7H) Swiss Village Hotel BANFF 泊 600 Banff Avenue 001-403-762-1581
14日(金)	BANFF から JASPER まで移動。 ICEFIELD PARK WAY TOUR (コロンビア大氷河、スカイウォークなど) LOBSTICH LODGE 泊 94 GEIKIE STREET JASPER 001-780-852-4431
15日(土)	ハイキング① Pyramid Lake 周辺 (4H) LOBSTICH LODGE 泊 94 GEIKIE STREET JASPER 001-780-852-4431
16日(日)	Maligne Canyon & Maligne Lake TOUR (5H) LOBSTICH LODGE 泊 94 GEIKIE STREET JASPER 001-780-852-4431
17日(月)	トレッキング③ Whistlers Mt 2470m(5H) LOBSTICH LODGE 泊 94 GEIKIE STREET JASPER 001-780-852-4431
18日(火)	JASPER から BANFF まで移動。 ICEFIELD PARK WAY (路線バス) (14日と同じ道を逆に行く) Blue Mountain LODGE BANFF 泊 327 Caribou Street Banff 001-403-762-5134
19日(水)	トレッキング④ Sulphur Mountain 2285m (4H) BREWSTER BANFF AIRPORT EXPRESS BANFF 3PM 発—CALGARY 5PM 着 DELTA CALGARY AIRPORT HOTEL 泊 2001 Airport RD 001-403-291-2600
20日(木)	12:45 CALGARY 国際空港 発 AIR CANADA 009
21日(金)	14:25 成田着

2. バンフにて

バンフのインフォメーションで DAY HIKES IN THE BANFF AREA という資料をいただきました。この中には 23 のトレイルが紹介されています。EASY と MODERATE と DIFFICULT にわかれています。係の人に相談し登山口へのアプローチが短く、自然を満喫できそうなトレイルを選びトレッキングしました。

① Cascade Amphitheater & Cascade Mt 2998m(8H) 晴

8:00。ホテルから登山口の Norquay SkiLodge までタクシーで 35 ドル。昨日、インフォメーションの人は Amphitheater (円形劇場という意味) までは MODERATE だが Cascade Mt は DIFFICULT なので止めた方がいいとアドバイスしてくれました。とりあえず Amphitheater まで行ってみようということに決め、歩き始めました。広い駐車場には一台の車も駐車してありません。私たちが最初ようです。昨日スーパーマーケットで買ったパンとハムとチーズで作ったサンドイッチ。果物等をリックに詰め、8:30。SkiLodge 出発。



— バンフを流れる BOW 川から眺めた Cascade Mt 2998m —

道はしっかりしています。Cascade Mt はバンフの町の北に聳える岩山です。バンフの町からよく見え。バンフの標高が 1400m ですから約 1600m の登りです。杉林の中を歩き始めると雷鳥が道の中央にいました。近寄ると全く動じません。更に近づくと私を追いかけてきました。驚きでした。一時間ほどなだらかな道を歩くと 40MilesCreek という川を渡ります。この川には新しい木製の橋が架けられていました。下流を見ると土砂崩れで橋が流された跡がありました。見上げるとかなりの土砂崩れです。ここから一気に登りに入ります。林道はしっかりしていますが道標がありません。分かれ道で判断に困ることがありました。展望がなくひたすら森の中を登ります。

11:30。森が突然開け、周りの景色が一気に広がりました。Amphitheater です。湿地帯です。小さな池があります。見上げると三方向を Cascade Mt の稜線に囲まれ、岩壁がそびえています。なるほど円形劇場だと思わせる風景です。日本でいうと涸沢に近い風景です。しばらく佇み昼食にします。ナキウサギが岩場から顔を出し盛んに鳴いています。ここでは動物が人を恐

れていません。

12:30。ここから **Cascade Mt** に登ります。南側の壁に薄い道がついていたのでそこを登ります。かなりガレた道です。上り詰めると **Cascade Mt** に続くメインルートと合流しました。やっと尾根です。このあたりから森林限界です。展望が開けます。



— 湿地の Amphitheater から **Cascade Mt** の稜線に向かう道 —

西側には登山口の **Norquay SkiLodge** やスキー場の全景が広がります。スキー場は11月下旬から営業開始するそうです。その奥には **Mt Norquay 2522m** が聳えています。**Cascade Mt** に続く尾根は枝分かれしていて歩きづらい道でした。ここでもライチョウを見かけました。

頂上からあと100mくらいの所で連れ合いの体調が悪くなりました。時差ぼけもあるのでしょうか。登頂は諦め、バンフの町や周りの山々の展望を楽しみながらお茶をしました。風が強く、フリースやダウンを着込みます。西北には **Mt Edith 2554m** **Mt Louis 2667m** などの **WABACK RANGE** が広がります。360° の大展望です。遥か彼方まで続くカナディアンロッキーの岩山を堪能しました。

下山途中、多くのハイカーたちとすれ違いました。多くがタンクトップに短パンという軽い装備で紫外線対策は大丈夫かな、気候の変化に対応できるのかななどと心配しました。

16:30。 **Norquay SkiLodge** 着。

17:00 に迎えのタクシーを呼んでいたのもので **SkiLodge** の芝生の上でゆっくりと休みました。夏場は施設点検中で、2人くらいのスタッフが常駐していました。

※1 カナダ \$ = 108 円



—Cascade Mt2998m をバックに眺めながら—

② Edith Pass & Cory Pass 2931m(7H) 晴

ホテルから登山口の Fireside Picnic Area Parking までタクシーで 25 ドル。資料をみるとこのトレイルは DIFFICULT 。13 k m loop 915m elevation gain. 6 hours round trip となっていました。昨日 Cascade Mt から眺めた山容がすばらしく、是非登ってみたいと思い、企画しました。Edith Pass から Cory Pass を抜けて戻ってくる 7 時間のラウンドトリップです。

8:20 出発。なぜ Fireside Picnic Area なのか。出発地点に BBQ サイトがありました。けっこう大きいかまどに木製のテーブルと椅子が 3 組設置されていました。こんな緑溢れる場所で BBQ をしたら楽しそうです。小さな川を渡り右のほうに行きます。トランス・カナダハイウェイに沿った道なので車の音がかなりうるさかったです。しかし 10 分ほど行くと Cory Pass と Edith Pass の分岐に出ます。ここを右に行き森に入ります。この森は北八ヶ岳を思わせるようなコケに満ちていました。沢沿いに道が続きます。沢山のサルオガセが下がっています。ここで体長 3 m ほどのヘラジカが道を横切りました。はじめは熊かと心配しました。20m くらい先の道をゆっくりと左から右に歩いて行きました。



—右手に MtLouis の岸壁。左手に MtEdith—

驚きました。まだ歩き始めて 30 分です。凄い自然です。BEAR RING も用意してきたのですがホテルに置いてきました。しばらく行くとライチョウが道に佇んでいます。

10:00。Cory Pass と 40MilesCreek の分岐です。ここを左に行きます。しばらく行くと森林限界。視界が開けます。東方に昨日歩いた Cascade Mt が広がっています。でかい自然です。西を見ると GarugoyeValley。これからこの谷を抜けます。右手に MtLouis の岸壁が聳え、左手に MtEdith が屹立しています。両方とも 500m 位ありそうな絶壁です。両サイドの絶壁にはさまれた砂利道をずり落ちながら登ります。ケルンが積んであるので、それを目安に MtEdith 側をトラバースしながら、谷を歩きます。景色が大きいので少し先にある場所に行くと思っても、二倍もの時間がかかります。ここには雪渓がありました。ここから Cory Pass まで岩と砂の道を更に 1 時間歩きます。このあたりで Cory Pass から下りて来たトレッカーたちとすれ違いました。こちらでの挨拶は Hello! How are you! が基本です。犬を連れたトレッカーにも良く会います。



—GarugoyaleValley を登り Cory Pass に向かう—

12:30。Cory Pass に到着。谷の景色が終了し、ここからはバンフ方面の景色が一気に広がります。岩場ばかりで日陰がないので、少し下り樹林帯の日陰で昼食です。バンフの景色を眺めながらサンドイッチをほおぼります。このあたりはリスが多く走り回っています。岩と埃の道を下ります。道標が殆どないので一度、道を間違えてしまいました。



—中央に Mt Louis の岸壁。左手に Mt Edith—

初めてのトレッカーは慎重に歩かなければと戒めます。

15:30。Fireside PicnicArea に到着です。ベンチで靴を脱ぎ、川で顔を洗いゆっくりします。心地よいからだを冷たい風が吹き抜けていきます。

16:00 に迎えのタクシーを呼んでいたのがホテルまで直行です。

バンフ駅の踏み切りで貨物列車につかまりました。運転手は「ここでつかまると 100 両の電車だから 5 分は足止めになる」と言っていました、確かに 100 両もの貨物列車の列は長かったです。

3. ジャスパーにて

この町は歩くと 20 分で通り抜けてしまうような小さな町です。ここでは湖までハイキングをしたり、ツアーでマリーンキャニオンやマリーン湖のクルーズをしたりしてすごしました。駅の近くにインフォメーション・消防署・郵便局・幼稚園・小学校・中学校・高校が固まっています。バンフと同じように町の中央を AthabascaRiver がゆっくりと流れ、町のまわりには多くの湖があり、美しい所です。

ここからは西方に、雪を擁いたカナダ最高峰 MtRobson3954mが眺められます。

③ Whistlers Mt 2464m(5H) 曇

この山はジャスパーの南側に位置しています。TRAMWAY（片道 38\$）が頂上近くまで通っているので観光客も多いです。

9:00。シャトルバスに乗り、登山口で降ります。本数が少ないのですが、片道 4\$ とリーズナブルです。シャトルバスから降りたのは私たち二人と若いカップルだけでした。登山口の駐車場には車が一台止めてあります。周りの山に厚く雲がかかっています。昨夜は雨だったようで道も濡れています。



— Whistlers Mt の登り。左に AthabascaRiver の川面 —

9:30。登山口は標高 1200mなので今回は約 1300mの登りになります。「この辺りの森には熊が多いから気をつけなさい」とインフォメーションの人が言っていたので、かなりびびりながら歩き始めました。今回もまずい事に BEAR RING をホテルに置いてきてしまいました。熊を心配しながら歩くのは北海道以来で

す。大声で会話をするようにしたり、わざと咳をしたりと対応しました。

道はしっかりしていますが濡れて滑りやすいです。両側の草の露が両手足にかかり、びっしょりになります。途中で岩場があり、沢がありと楽しい道です。この山はきのこ類が多いので驚きました。いたる所きのこだらけ。そういえばカナダではきのこ料理を殆ど見かけません。きのこは食文化として位置づけられていないのではないかと思いました。

11:00。TRAMWAY の下を過ぎます。上の方をロープウェーが通過していきます。ここを過ぎしばらくすると森林限界。岩場を過ぎ、ガレキの道になります。雲も取れ、頂上も見えてきます。ジャスパーの町も見え始めます。中央を流れる AthabascaRiver の川面が輝いています。

12:30。TRAMWAY の頂上駅到着。ここの2階にはカフェがありランチにします。珈琲3\$。ここは天井がガラスで日差しが暖かく気分よし。ゆっくりします。おとといハイキングした Pyramid Lake など湖が点在するジャスパーの町が眼下に広がります。

13:00。山頂を目指します。TRAMWAY から 15 分。なだらかで頂上は硫黄岳のようです。頂上からは 360° の展望です。カナダ最高峰 MtRobson3954m も大きく迫っています。ロッキー山脈の大きさを痛感します。満足し、登ってきた道を戻ります。

この時間には 10 人くらいの人達とすれ違いました。この季節、日没が 11 時なので午後からゆっくりと登る人が多いようです。登山客が増えたので、熊の心配が減りました。快適な下りです。

14:00。登山口着。駐車場には車が 10 台くらい停めてありました。

14:20 のシャトルバスに乗りホテルに戻りました。



— カナダ最高峰 Mt Robson3954mを背景に。 —

JASPER YELLOWHEAD MUSEUM の伝説のピッケル。

この小さな町にすてきな博物館がありました。小さな町の小さな博物館。そこに 1925 年（大正 14 年）に当時カナダの未踏峰だった MtAlberta3619m を初登頂した榎有恒隊の 90 年前のピッケルが飾ってあったのです。

この伝説のピッケルの話をご存知の方も多いと思いますが、簡単に紹介します。

「1925 年、Mt Alberta はカナディアンロッキーの中で唯一未踏峰の山だった。榎有恒率いる慶応大学山岳部 OB とスイス人ガイド隊 6 名は 7 月 21 日午後 7 時 35 分に初登頂に成功。登頂したパーティーは証として山頂にピッケルを突き刺して下山。地元ではこのピッケルが銀製で天皇から下賜されたものだと言い伝えられてきたそう。23 年後の 1948 年。アメリカ隊が第二登に成功。山頂の氷の中に埋もれていたこのピッケルを発見。しかし、取り出そうとしているうちに下部が折れ、彼らは上部 4 分の 3 を持ち帰った。それは NY のアメリカ山岳クラブ博物館に展示されていた。

1965年。長野高校山岳部OB隊が日本人パーティー二度目の登頂に成功。ピッケルの残りの4分の1を回収した。



— JASPER YELLOWHEAD MUSEUM に展示されているピッケル —

1995年。ピッケルの上部はアメリカからカナダに返還された。そして、Mt Alberta の山頂に最初に残されてから75年たった2000年8月。この二つに分かれた伝説のピッケルはジャスパーでの特別式典でついに合体した。カナダ・アメリカ・日本の登山界が共有する歴史に敬意を表してJASPER YELLOWHEAD MUSEUM に展示されることになった。」

帰国し、岩波新書671 榎有恒著「わたしの山旅」を引っ張り出し、ページをめくるとVII章にマウントアルバータ登頂の件が書かれていました。彼は約2ヶ月かけてこの遠征を成功させています。彼はアルプス登山、アイガー東山稜登攀などを行い、日本にアイゼンやピッケルなどの登攀用具を紹介した人物として有名ですが、慶応大学山岳部を創設し、日本山岳協会会長など大きな足跡を残した方です。彼の使ったピッケルがジャスパーに飾ってあるのには驚きました。

彼は戦後、戦犯として追放処分となり大町の百瀬慎太郎さんの「対山館」の離れで暮らしていたそうです。私の行きつけの阿佐ヶ谷の喫茶店「対山館」も百瀬さんとの繋がりがあり、不思議なご縁だなと思いました。



—Whistlers Mt 2464m から眺めたジャスパーの町—

4. おわりに

10 日間でどのくらいカナディアンロッキーの自然に触れられるか心配でしたが、いくつかのトレッキングやハイキングやツアーを通してカナダの大自然に触れたことは大きかったです。野性の動物に対する考え方や自然に向かう姿勢など、多くのことを学びました。特に登山口には **Share The Trail. Never feed or approach wildlife. 100metres away from BEARS,WOLVES.** など細かいところまで丁寧に説明した掲示板がありました。道標は少なかったのですが事故もなく、快適なトレッキングができたことに感謝です。

また出会ったカナダの人達が皆すばらしく、感動の毎日でした。カナダは多文化共生の国です。歴史を振り返ると奴隷制度が無く、合衆国側から逃亡した多くの黒人奴隷をかくまったそうです。皆さんゆったりと生きているなあと、うらやましいなあと感じる時間をもらいました。ロッキーはあまりに広いのでヘリやセスナで山頂に行き、そこからトレッキングを始めるコースもあるそうです。今度カナダに来る機会があったら車を借りてロッキーの谷の奥のほうに行き、時間をかけて歩いてみたいです。お世話になったカナダの皆さんに感謝。

2015年8月26日